

練馬区 意見を聴く会 議事概要

日時：平成17年7月12日（火） 18時30分～20時30分

場所：練馬区勤労福祉会館

主催：国土交通省及び東京都

協力：練馬区

参加者：住民42名

国土交通省	山本 東京外かく環状道路調査事務所長 川端 東京外かく環状道路調査事務所 副所長 鈴木 東京外かく環状道路調査事務所 調査課長
東京都	道家 外かく環状道路担当部長 邊見 外かく環状道路担当課長
練馬区	藤井 外かく環状道路担当 課長補佐 平野 都市整備部長 朝山 交通企画担当課長 内木 まちづくり第二担当課長

提示資料： 東京外かく環状道路東京圏自動車専用道路網図
外環ジャーナル第17号、第18号
東京外かく環状道路（関越道～東名高速）に関する方針
東京外かく環状道路（関越道～東名高速）（練馬区～杉並区の区間について）
外環の地上部の街路について

Q & A

次第：1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 資料説明 5 意見交換 6 閉会

議事概要

1 開会

2 あいさつ

国土交通省

- ・PI協議会「2年間のとりまとめ」やPI会議の最近の状況について報告したい。
- ・1年間の環境調査に関して報告したい。
- ・地域ごとの課題に関して改めて皆様の意見を頂きたい。

東京都

- ・計画づくりの早い段階から地元の皆様により具体的な案を示して、様々な意見を伺って、よりよい計画案にしていきたい
- ・外環のICあるなしの影響について、十分に説明し、皆様の意見を伺いたい。
- ・練馬区から生活道路としての地上部街路の方針が提出され、それについての区民アンケートをしたと承知している。区ともよく協議して、この対応方針を検討していきたい。

3 出席者紹介

4 資料説明

5 意見交換

意見：おもな意見は以下のとおり。

【外環の本線について】

- ・現在の日本は、右肩あがりの成長の時代ではない。人口や自動車も減少していくことになり、国に多くの借金があるのにどうして外環を整備する必要があるのか。
- ・外環を整備しなくても将来は外環周辺の交通量が減ると資料にあるので、外環を整備する必要はないのではないのか。
- ・旅行時間が10分短縮される程度の効果で外環を整備するべきではない。
- ・道路が出来て交通量が少なくなったということを聞いたことがない。
- ・練馬では外環を整備すると渋滞すると思う。

- ・外環の検討にあたっては、移転の影響や交通量が何台違うとか言っていないで、大局的にみて我々の代だけで考えるのではなく、子や孫の代にという先のことまで考慮して意見を言うべきである。
- ・大災害への対策が万全であると言うのであれば、自動車専用道路同士をつなぐのはネットワークとしてやむを得ないこと。やりたいとは思わないがやらなければいけないこと。

(回答：練馬区)

- ・これまで、外環が大泉でとまっていることによる影響を受けており、それを踏まえれば外環は整備するべきである。

【地上部街路について】

- ・地上部街路とインターチェンジを整備するのであれば外環を地下化したメリットがなくなる。
- ・費用や地域住民への影響の面からも地上部街路は反対である。
- ・保育園や小学校がたくさんあるので子供達の安全が心配。
- ・練馬区は東京都でも道路整備が遅れている。道路の整備は必要。
- ・道路から離れている人はみんな賛成するが、道路が自分の目の前を通る、あるいは立ち退かされるといふ人達にしてみれば造ってほしくない。

(回答：東京都)

- ・地上部街路は、現在の都市計画上存在するため、廃止するという案も含め、どうしていくのがよいのか。地元の意向を踏まえて考えていく。
- ・練馬区が地域の生活道路として整備したいという方針案を出している。
- ・練馬区が行った住民アンケートでは2 / 3が地上部街路に賛成していることなどを重くうけとめ、区とも相談しながら検討していく。

(回答：練馬区)

- ・地上部街路は外環と切り離して考えるべきであり、区内の道路ネットワークとして整備する必要がある。それが外環のルートと一致しているだけ。

【インターチェンジについて】

- ・青梅街道インターチェンジを作ることは反対。
- ・青梅街道インターチェンジを整備したら、現在も渋滞している青梅街道の交通量が増える。そのため、生活道路にまで自動車がさらに流れてくる。
- ・国や東京都は、1月の方針では地下構造でインターチェンジは作らないといっているが、3月の方針では青梅街道インターチェンジと地上部街路は地元の意見を考慮とあり、内容が異なる。
- ・一部の人たちの意見でインターチェンジの必要性を考えないでほしい。
- ・青梅街道インターチェンジを整備せず、ジャンクションや大深度を基本とした構造が、外環の落しどころであると考えている。

(回答：国土交通省)

- ・インターチェンジがある場合とない場合をデータとして提示している。その結果を踏まえて必要か意見をほしい。
- ・インターチェンジにはメリットもあるが、住民や環境への影響などのデメリットもある。データに基づいて意見を頂きたい。

(回答：練馬区)

- ・練馬区には北側と南側にインターチェンジの計画がある。2つのインターチェンジが整備されなければ外環本来の効果は得られない。
- ・5つのインターチェンジができることによって交通の負荷が均等化する。

【環境影響について】

- ・現在でも青梅街道のNO₂の濃度は高く、インターチェンジや地上部街路が整

備されれば、さらに悪化するのではないか。

- ・公害医療補償制度に関して、患者の数が練馬区は常に東京都の中で1～3位である。
- ・八の釜の移設をどのように行うのか具体的に回答してほしい。八の釜の池など直したり回復したりできないものを破壊することはやめてほしい。
- ・環境への影響があるのに、交通などへの効果があるのではないかという程度では外環を整備してほしい。
- ・換気塔から出る排出ガスが地上にばら撒かれるだけではないか。浄化施設はどうなっているのか。換気塔は実際に効果が認められてから設置してほしい。
- ・道路を建設したことにより、地下水が枯れたという事例もあり、地下水への影響が心配である。
- ・大泉インター周辺の人達は、非常に車公害で困っている方も居る。希望の方の一筆全部買いをして、そこを緑化するとか、もっと積極的にやったほうが良い。

(回答：国土交通省)

- ・八の釜の森の復元や移動については、検討がさらに進んだ段階で、是非皆様の意見を聞きながら考えていきたい。
- ・大気浄化施設は技術開発をしており、試験的に設置している。外環が必要となり、具体的な検討段階で必要と判断されれば設置する。
- ・まだ必要性の議論をしており、具体的な構造を検討する段階に入っていないため、環境の予測値など具体的な数値は出ていない。

【まちづくりについて】

- ・地域全体のまちづくりから見た広い展望が必要。
- ・地上部は外環と別にしてまちづくりをしてほしい。
- ・外環の沿線区間は南北方向の移動が不便なので地上部にLRTを通してほしい。
- ・上石神井駅は乗客数が多いのに、道路の整備状況がよくない。そのため、そこで生活している住民は大きな影響を受けている。この問題をどうするのか考えるべきである。
- ・外環に関係なく、今の時点で生活道路の安全についてどうにかしてほしい。
- ・避難路の確保の点からも道路整備は必要。

(回答：練馬区)

- ・少しでも影響が少なくなるようなまちづくりをやっていかなければならない。

【進め方について】

- ・質問及び陳情を練馬区で1737名の署名を集めて国や都に渡したが何ら返事がない。
- ・資料説明はもっと時間を短くしてほしい。
- ・お互いの意見はしっかりと聞かないと参加している人たちには分からない。
- ・地元の意見を聞きながらとっているが、地元とは地元住民ではなく練馬区役所を指しているのではないか。
- ・前回の意見を聴く会でも質問に対して答えがない。1時間半では話しきれないのでもっと時間を作ってほしい。意見交換がただの儀式になっている。
- ・言いつばなしで回答がない。意見交換になっていない。
- ・誠意を持って住民の話を聞く会を多く設けてほしい。
- ・前回の交通量予測の間違ひについての練馬区の説明がない。
- ・これまで一度も区民に説明せずに、練馬区が方針案を出している。アンケートの結果が一人歩きをすることが心配。
- ・国や東京都は、現段階でははっきりと回答できないのであれば、回答できないことを明確にすべき。

- ・北園の渋滞を見れば外環は必要である。いつまで外環の必要性の協議をしているのか。
- ・反対している人たちもただ反対しているのではなく、どうすればいいのかということ提案すべき。
- ・外環の必要性について考えるべきであるのに、それとは外れたところの話がされている。資料について議論すべき。
- ・住民にはほとんど説明がされておらず、勝手に話が進んでいる。そのため、外環に対しての認識が異なり、話がかみ合わない。
- ・練馬区の21項目にはほとんど対応できていないのではないか。
- ・アンケートは対象となる範囲が問題となる。練馬区が勝手に取ったアンケートが住民の意見だとは言えない。
- ・サブロク道路が造る過程で、どういう範囲で住民投票をするのかが非常に問題になった。住民投票をやるにしても、どの範囲でやるべきかは大問題で未だにはっきりとした結論が出ていない。

(回答：国土交通省)

- ・署名を頂いたことは承知している。
- ・時間が少ないのは申し訳ないが、生の声を聴くことが重要であると認識している。
- ・現段階では必要性を議論する段階であり、影響に対する対策など具体的な議論をできる段階ではないが、現段階で回答できることは出来る限りの回答はする。
- ・外環の計画の中で適切な段階で意見を聴く場を設けていきたい。説明を聞きたいという要望があれば、地元へ説明に伺う。また、外環事務所にも聞きに来てほしい。

(回答：東京都)

- ・練馬区が行ったアンケートは一般的に用いられる手法で信頼性はある。
- ・練馬区から提出されたのはあくまで方針案で、現在意見を聞いている段階であると理解している。